

2023年5月26日

本社ビルの電力全てを再生可能エネルギーに転換 グループ全体の温室効果ガス削減効果は年間当たり 1,676t-CO₂

ニュースポイント

ナイス株式会社（本社：横浜市鶴見区、社長：杉田 理之）は、2023年6月1日より本社ビルで使用する電力の全量について、トラッキング付非化石証書が付帯された実質再生可能エネルギー由来の電力（以下、実質再エネ由来電力）に切り替えます。電力の調達に際しては、東急不動産ホールディングス株式会社のグループ企業である株式会社リエネ（本社：東京都渋谷区、社長：西田 恵介）が提供する「リエネでんき」を活用いたします。

2023年3月期における当社本社ビルの年間消費電力量は約440,928kWhで、実質再エネ由来電力への切り替えによる温室効果ガス排出量の削減効果は、二酸化炭素換算で年間当たり201t-CO₂を見込んでいます。

当社グループでは2022年より、全国28カ所の拠点への実質再エネ由来電力の導入を進めており、この度の本社ビルへの実質再エネ由来電力の導入により、ナイスグループ全体での温室効果ガス排出量の削減効果は、二酸化炭素換算で年間当たり1,676t-CO₂（2022年3月期比14.5%削減）と見込まれます。

当社は、5月12日に公表した「中期経営計画2023」において、環境目標として、2026年までに当社グループの事業活動に伴う温室効果ガス排出量（Scope1・Scope2の合計）を2022年3月期比で36%削減し、当社グループにおけるカーボンニュートラルの達成を掲げています（表1）。

当社は引き続き、省エネ活動の推進と再エネの積極的な利用に加え、社有林「ナイスの森」の保全育成を通じた二酸化炭素吸収量の増大を図ることなどにより、マテリアリティ（重要課題）の一つである「事業活動における環境負荷の低減」の取り組みを推進してまいります。

（表1）ナイスグループ環境目標

2050年 目標	ALLバリューチェーン・カーボンニュートラルへの挑戦
2030年 目標	森林育成と木材利活用によるカーボンニュートラル社会実現への貢献 ～Scope1・Scope2・Scope3のカーボンニュートラルの達成※1～
2026年 目標	ナイスグループにおけるカーボンニュートラルの達成 ～Scope1・Scope2のカーボンニュートラルの達成※2～

※1 国産材の利用による炭素貯蔵量等の「削減貢献量」や、社有林の二酸化炭素吸収量によるオフセットを含みます。

※2 社有林の二酸化炭素吸収量によるオフセットを含みます。



【ご参考】

「中期経営計画2023」の策定と企業価値向上に向けて（2023年5月12日公表）

https://www.nice.co.jp/files/2023/05/2023_05_12_02.pdf

TCFD提言への賛同及び提言に基づく情報開示のお知らせ（2023年5月12日公表）

https://www.nice.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/2023_05_12_04.pdf



お問い合わせ先

ナイス株式会社 管理本部 広報部 梅原 TEL：045-501-5048 MAIL:koho@nice.co.jp
〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1